2018 年 4 月 12 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance

フィリップ証券株式会社

シンガポール航空（SIAL）

最新機種「ボーイング 787-10」を導入、世界初の国際定期便へ

シンガポール | 旅客航空輸送業 | 業績フォロー

BLOOMBERG SIA:SP | REUTERS SIAL.SI

- 2018/3 期 3Q（10-12 月）は、売上高が前年同期比 6.0%増の 40.76 億 SGD、純利益が同 61.5%増の 2.86 億 SGD となった。
- 米ボーイングの最新機種「ボーイング 787-10」を導入。5/3 に導入予定のシンガポール－関空路線が世界初の国際定期便となる。
- 2018/3 通期の市場予想は、売上高が前期比 5.1%増の 156.32 億 SGD、当期利益が同 88.1%増の 6.77 億 SGD である。

What is the news?

2018/3期3Q（10-12月）は、売上高が前年同期比6.0%増の40.76億SGD、営業利益が同12.5%増の3.29億SGD、純利益が同61.5%増の2.86億SGDとなった。旅客輸送、貨物輸送、エンジニアリングサービスの全ての事業領域で売上が伸びた。旅客関連収入は、グループ全体では同4.2%増となった。旅客単価にあたるイールドが同3.1%低下したものの輸送量が伸びたことで相殺。有償旅客キロ数が同6.9%増の33,319.7百万人キロとなった。貨物関連収入は同4.1%増。イールドが同12.1%増と高まったのに加え、貨物総輸送量も増加した。エンジニアリングサービス収入も、ラインメンテナンスや航空機・航空機部品のオーバーホールが寄与し同7.9%増となった。費用面では、燃料価格の上昇などの影響により営業費用が同5.4%増の37.47億SGDとなった。平均ジェット燃料価格は同20.1%上昇したが、ヘッジ取引などで一部相殺したことにより、燃料費の増加は同9.2%増に留まった。その他、前年同期に計上した「Tiger Air」のブランド・商標の評価損がなくなったことなども寄与し、大幅増益となった。

主要な子会社の業績は以下の通り。SIAは、営業利益が前年同期比2.6%増の155百万SGD、有償旅客キロが同4.4%増の24,513.1百万人キロ、イールドは同1.0%低下し0.104SGD/km。シルクエアーは、営業利益が同36.7%減の19百万SGD、有償旅客キロが同18.4%増の2,224.0百万人キロ、イールドは同12.3%低下し0.114SGD/km。LCCのスクートは、営業利益が同48.3%減の43百万SGD、有償旅客キロ数が同13.5%増の6,582.6百万人キロ。SIAカーゴは営業利益が同66.0%増の88百万SGD、貨物輸送総量が、同4.4%増の1,960.8百万トンキロ、貨物イールドは同2.1%上昇し0.306SGD/ton。SIAエンジニアリングは、営業利益が同28.0%減の18万SGDとなった。

How do we view this?

同社は、厳しい競争環境によりイールドへの押し下げ圧力が強まっているが、燃料価格のボラティリティの上昇によりさらに悪化すると見ている。同社は、原油の長期ヘッジ契約の満期を 2022-2023 年まで延長し、年間燃料予測消費量の 47%を 53-59USD/bbl でカバーしている。また、米ボーイングの最新機種「ボーイング 787-10」を導入する。5/3 に導入予定のシンガポール－関西国際空港路線は、同機が世界で初めて就航する国際定期便となる。2018/3 通期の市場予想は、売上高が前期比 5.1%増の 156.32 億 SGD、当期利益が同 88.1%増の 6.77 億 SGD である。

業績推移　※参考レート 1SGD=81.60円

事業年度	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3F	2019/3F
売上高（百万SGD）	15,565	15,238	14,868	15,632	16,190
純利益（百万SGD）	367	804	360	677	670
EPS（SGD）	0.31	0.69	0.30	0.59	0.57
PER（倍）	35.77	16.31	36.97	18.80	19.46
BPS（SGD）	10.66	10.96	11.07	11.45	11.74
PBR（倍）	1.04	1.01	1.00	0.97	0.94
配当（SGD）	0.22	0.45	0.20	0.33	0.31
配当利回り（%）	1.98	4.06	1.80	3.00	2.79

（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（SGD）	0.33	（予想はBloomberg）
終値（SGD）	11.09	2018/4/11

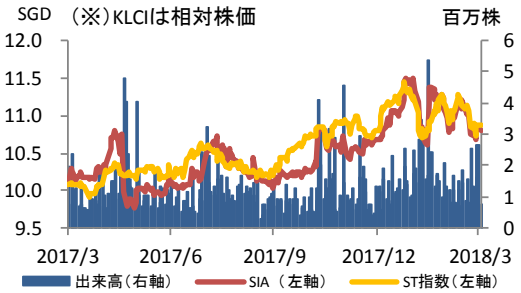
会社概要

1947年に「マラヤンエアウェイズ」として創業。その後「マレーシア・シンガポールエアライン」へ改称し、1972年にはマレーシア航空と分離して設立。航空輸送業を行う。グループ全体では180機以上の航空機を運航しており、35ヵ国130以上の目的地をつないでいる。就航便は約1万便にのぼり、年間3,100万人の乗客を運ぶ。

グループはシンガポール航空、シルクエアー、スクート、SIAエンジニアリング、SIAカーゴ、その他で構成される。シンガポール航空は、シンガポール航空ブランドを展開し、旅客にフルサービスの航空輸送を提供する。シルクエアーは、シルクエアーブランドの下、旅客にフルサービスで近距離路線向けの航空輸送を提供している。スクートはスクートブランドのローコストキャリアを展開。SIAエンジニアリングは、機体保守および分解検査、ラインメンテナンス、グランドハンドリング、車両管理などを行う。SIAカーゴは、航空貨物輸送を行う。

企業データ（2018/4/12）

ベータ値	0.82
時価総額（百万SGD）	12,771
企業価値=EV（百万SGD）	13,580
3ヵ月平均売買代金（百万SGD）	17.1



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2018/4）　（%）

1.TEMASEK HOLDINGS PTE LTD	55.61
2.BLACKROCK	1.81
3.DIMENSIONAL FUND ADVISORS LP	1.42

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

アナリスト

増渕 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

+81 3 3666 6980

hiroki.ihara@phillip.co.jp

シンガポール航空（SIAL）

2018 年 4 月 12 日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103ー0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101 URL：http：//www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増渕 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。